

つながり亭・ヴァリエーション	
<b>作業所通信</b>	
通刊 7号 発行日 2012. 1. 6	

## 謹賀新年

昨年は、法人並びに「つながり亭・ヴァリエーション」に対し、ご支援ご協力ありがとうございました。

いよいよ今年の三月には岐阜市古市場に新しい施設が建ち引越しをします。「地域活動支援センター」から「就労継続支援B型事業所」という新しい事業体系に変わり定員は三十人、仕事も食品加工や飲食の部門が増えます。これまで作業所は市の中心部にありその周辺から通所する仲間がほとんどで、やや遠くなり通所の手段が変わる事で不便や戸惑いも多いと思います。

バスの便を調べたり予行演習をしたことなどを聞きホッとしていますが、遠くなることで通えなくなる等様々な不便が生じないよう検討をしています。

また順次新しい仲間を迎え楽しみと共に不安やストレスを抱えることもあるかと思いますが、だれもが自分の居場所と役割を見つけ互いを認め合い安心して働ける場にした

いと思います。

ご家族の皆様にも色々とお迷惑をおかけするかと思います。ですが、ご協力よろしくお願い致します。

今後は移転することもなく自分たちの地域として周囲とも関わりを作り、誰もが安心して通え、障害者がいて当たり前地域になるような取り組みも仲間たちと一緒にしていきたいと考えています。

昨年の地震と津波、原発事故からの復興はままならず、いまだ日本中を深い悲しみで覆い、さらに放射能汚染などの不安はなくなりません。

今後、復興には政治の力が必要ですが人が生きる上では人とのつながりが大きな支えになります。

作業所の活動を通してつながりを広く強く作っていきたいと思います。

今年もよろしくお願ひ申し上げます。(吉田)

## 二〇一二年の今年の抱負

新年を迎え、今年の抱負を聞きました。

- ・体調に気をつけて休まないように一年間頑張って仕事をする。(赤石)

- ・黒野に新しい作業所が出来るので向こうへ行っても頑張りたい。(伊藤)

- ・新しい仕事が増えるように。(岩崎)

- ・仕事を頑張ります(宇野)

- ・売上をもっとアップ出来るように頑張る（小川）
- ・今年は作業所が新しくなるので、どうなるか不安な部分もあるけど、新しい利用者も増えるので新たな気持ちで、作業所の仲間のみんなと仕事やいろんな事をして、元気にやって行きたいと思います。（紺谷）
- ・黒野の方へ行っても仕事の内容が変わってもやり遂げていきたい。（清水）
- ・家庭菜園に挑戦したい。（鷺見）
- ・販売を頑張りたい。（真城）
- ・おみくじとおまつり（水田）
- ・黒野へ移ったときに、たくさんのお客さんに来てもらえるように呼びかけたい。（山岸）
- ・作業所を新築し自分にとっても、作業所にとっても期待と不安が混じる新年になりそうですが、これからしっかりとした準備をして飛躍できるようにしたいと思います。また、作業所で働くみんなが、ここで働けて良かったと思えるような働く場を作り出せたらと思います。

（服部）

（山本）

（東山）

- ・作業所の移行と移転と、たくさんの変化がある年で、どのような役割で、どのようにやっていけばいいか、なかなかイメージが出来てなく正直不安がいっぱいです。それでも自分の役割は、こなしていくようにしたいです。（本望）

## 新施設建設の報告



十月に国庫補助が決定して以降、建設に向けての準備をすすめてきました。施設の建設工事をお願いする業者を決定するための指名競争入札を、十一月二十四日に北部コミュニティセンターで行い、入札の結果、

安田建設工業株式会社に決定しました。翌二十五日には、早くも、古市場の建設予定地にて地鎮祭を行い、作業所のメンバーも参加しました。いつもと違った緊張した雰囲気の中、一人ひとり、神主さんに教えてもらいながら玉串を祭壇にお供えしました。

地鎮祭終了後、近隣のお宅に職員と利用者代表が業者さんと一緒に工事のあいさつにまわりました。また、施設の周辺の二百軒には、作業所が今後この地域に根付いて活動を続けていくにあたり、まずは自己紹介の意味を込めて、

そして障害者や作業所に対する理解を深めてもらえるよう



にと、「ごあいさつ」のチラシを手分けして配布しました。

工事現場では、毎週一回の工程会議がおこなわれ、設計監理者、建設会社の責任者、各関係業者、施主である施設側担当者間で打ち合わせをします。工事は急ピッチですすみ、一月十一日には、上棟式がおこなわれ、二月末には完成の予定です。

(山本)

## 『お楽しみ音楽会』に行きました♪

十一月二十四日 岐阜南ライオンズクラブ主催の「お楽しみ音楽会」に岐阜文化センターまで行ってきました。

同会には、毎年色々な催し物で楽しませていただいています。

この日は少し肌寒かったのですが、この会を今年も楽しみにしている利用者さんたちは上着を着るのもすっかり忘れて興奮気味に岐阜文化センターに向かいました。

会場に着くと、すでに多くの施設の利用者さんたちが、今か今かとソワソワしながら待っていました。つながり亭・ヴァリエーションの利用者さんも席に案内され、同じ



ように開演が待ち遠しい様子でした。

待ちに待った「お楽しみ音楽会」が始まり、最初は順番に各施設名が呼ばれて返事をしていきました。

「つながり亭・ヴァリエーションの皆さん！」「はい！！！」真っ直ぐ手を挙げ大きな声で素晴らしい返事・・・さすが清水君・岩崎さんと感心しました。

次に歌とマジックが始まりました。

歌は、トトロなどお馴染みの曲で利用者さんたちも体を揺らしながらノリノリで聞いていました。

マジックは、ユーモアたっぷりのマジックで、清水君はお腹を抱えて大笑いしていました。

みんな、とても楽しい時間を過ごせたようです。

最後には、岐阜南ライオンズクラブから各施設に心温まる御心使いを頂きました。

こちらの方は有効に使わせて頂きたいと思えます。

(東山)

## (感想)

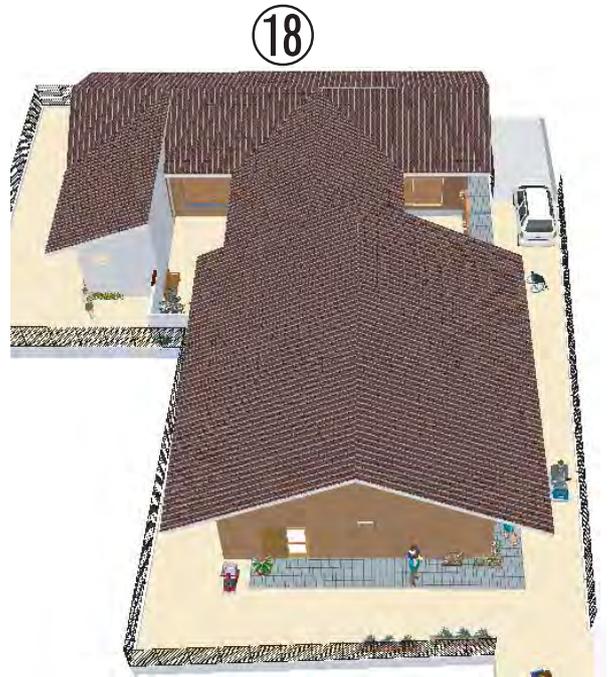
・今年、ステージに上がって踊ったりするのが無かったのが少し残念だったけど、歌とマジックがとても楽しかったのがよかった。(清水)

・笛の音色・「さよなら」の歌がとてもよかった。

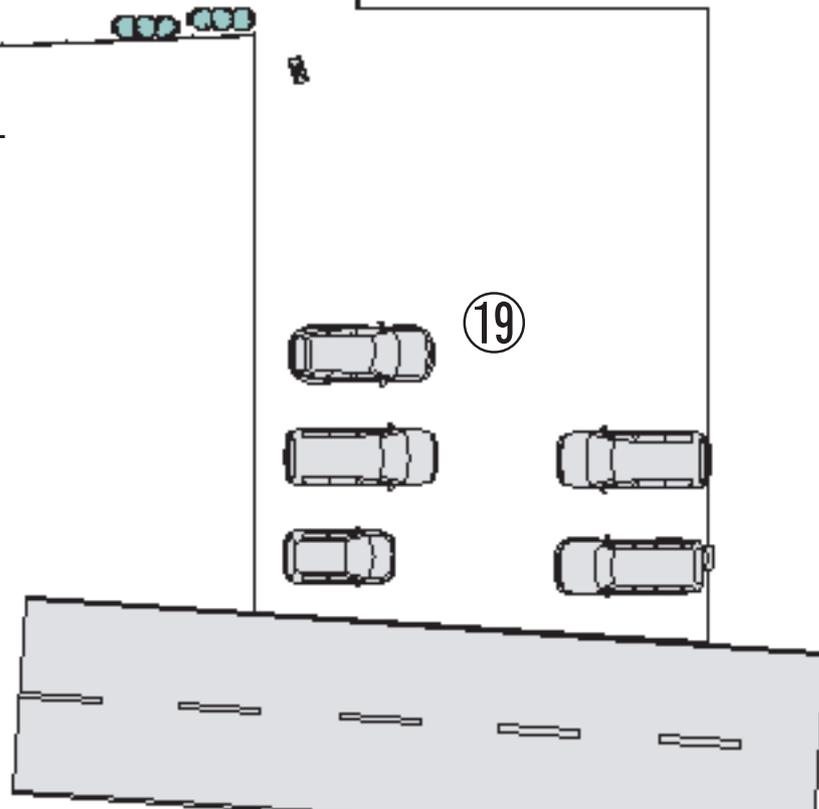
(岩崎)

# 施設紹介

黒野に新しい施設を平面図を使って簡単な施設紹介をします。



- ① 正面玄関
- ② 事務室兼相談室
- ③ 作業室 1
- ④ 作業室 2
- ⑤ 南側トイレ
- ⑥ 多目的室兼食堂
- ⑦ 昼食用の台所
- ⑧ 人数分の個人ロッカー
- ⑨ 中二階
- ⑩ 物品搬入口
- ⑪ 飲食・販売スペース
- ⑫ レストラン玄関
- ⑬ レストラン 席
- ⑭ 厨房
- ⑮ 作業室 3
- ⑯ 北側トイレ
- ⑰ 中庭
- ⑱ 太陽光発電システム
- ⑲ 駐車場



- ① 正面玄関 作業所のメンバー、職員、お客さんの玄関です。  
腰かけて靴の履き替えができるよう椅子を用意してあります。
  - ② 事務室兼相談室 事務的な事をする所です。
  - ③ 作業室 1 主に軽作業をする所です。
  - ④ 作業室 2 キャンドル製造の設備があります。
  - ⑤ 南側トイレ スタッフ用です。シャワー室もあります。
  - ⑥ 多目的室兼食堂 地域の方との交流の場や作業所やつかいぼうの企画、講座、その他展示等有効活用出来たらと思っています。
  - ⑦ 昼食用の台所 必要になったら給食が出せるように準備しました。  
みんなで料理して食べる日を作ったり、食事づくりの練習など  
楽しい&役に立つ企画を考えます。天井が高くて気持ちが良いです。
  - ⑧ 人数分の個人ロッカー 畳ベンチが二つあり、移動させることができます。  
和室はありませんが横になったり休んだり出来ます。
  - ⑨ 中二階 物置に使います。こっそり住んでみたい気分です。
  - ⑩ 物品搬入口 食品部門に関わる物品を搬入します。
  - ⑪ 飲食・販売スペース 小さな店舗、自然食品や野菜、加工品、キャンドルを並べます。
  - ⑫ レストラン玄関 もちろん車椅子も楽々バリアフリーです。
  - ⑬ レストラン 席 4テーブル、18席でお待ちしております。
  - ⑭ 厨房 レストランで出す料理を作ります。
  - ⑮ 作業室 3 (加工用作業室) 販売用の野菜を洗ったり分けたり、加工品を作ったり。
  - ⑯ 北側トイレ 主にレストラン、食品部門の方のトイレと洗面室。  
多目的トイレ、オストメイトも有り、どなたにもトイレを気にせず  
安心して食事していただけます。
  - ⑰ 中庭 部屋の西側と東側には中庭があります。  
何に使おうか目下検討中。はやくも家庭菜園という声が上がっています。
  - ⑱ 太陽光発電システム パネル 44 枚で予測として 11,115kwh/年の発電。エアコン以外の  
電力は自分たちで賄えるのではないかと思います。  
作業所のお休みの日は売電が出来ます。私たちに出来る脱原発の  
一つです。地域の何かの役に立てたらとも思います。
  - ⑲ 駐車場 車が 10 数台置けそうです。  
南側の空いた場所にも作業所の車が何台かは止められます。
- もちろん全館バリアフリーです。



就労継続支援B型事業  
ビー・カンパニー



## 第十三回手作りキャンドル展開催



二人ずつ、一日おきに交替しながら販売に行き、売り上げをのぼそうと、休みを木曜日だけにしてがんばりました。

今回のおすすめは、「ヴァリエーションの定番商品である「ブロックキャンドル」をリサイクルして作った新作です。キャンドルをもっと楽しみたいと思っている人に気軽に手にしていただけるようにという思いから、大きめサイズ、シンプルなデザイン、手ごろな価格で毎日の暮らしに取り入れやすいものになりました。お客さんの反応は結構良く、予想以上に売れて良かったです。今後も制作していきますので、ぜひご利用ください。

また、今回の展示会では、東日本大震災被災者支援のための寄付金付き商品を販売したところ、千三百円の寄付金

一年間の仕事の成果の発表の場、そして最大の販売イベントである「第一三回手作りキャンドル展」を今年度も十二月三日より十八日まで、柳ヶ瀬のレンガ通りミニテラスで開催しました。近年は、販売に行けるメンバーが減り、土日のみの営業をすることが多くなっていましたが、今回はつながり亭から赤石君が販売に加わってくれ、平日も利用者が



が集まりました。寄付金は「ゆめ・風基金」を通じて被災障害者に届けられます。

今回は、平日の人通りがあまりにも少なく、売り上げは例年より少なめでしたが、毎年会場に足を運んでくださる方、通りがかりに立ち寄ってくださった方など、多くの方に来場していただきありがとうございます。今後も継続して開催していきたいと思えます。

(山本)

### 感想

・けっこう売れてよかった。(山岸)

・ちよつと寒かったけどロウソクが売れてよかった。

(赤石)

・柳ヶ瀬に平日はあまり人がいなかったけど、少しでも売れたので良かったし、土日は一万円は超えたのでホッとしています。毎年来てくれるお客さんで今年も買いに来てもらえたので嬉しかったです。来年も開催したいです。(紺谷)

・もう少しお客さんが来てほしかった。来年は売れるかどうか少し不安。(鷺見)

## つながり亭の近況報告

去年は、つながり亭の今までの販売活動に加え新たな取り組みとして、早田の法人事務所前で簡易テントを張り『やさいマルシェ』と題し、旬の野菜や果物を販売したところ盛況で、澤井農園のトウモロコシ三百本 久々野のこだわり抜いた福蔵の桃七十kgなどは、すぐに完売になるなどでした。さらには、リンゴや人参などを使いジャムの試作や味噌をベースにしたやさい味噌などの加工品も試作し、いろいろな方に試食して頂いたら、まずまずの手応えでしたので今後改良を加え、オリジナル商品として販売していきたいと思っています。(お楽しみに)

去年は、新たな販売活動の取り組みと八月より職員になった『新人職員・東山』の奮闘もあり、前年比で売上が15%程度もアップしていました！(素晴らしく 拍手)

これからも、みんなで頑張っていこうと思いますので、応援、よろしくお願いします！

## 赤石君が行く！

赤石君が、新しい作業所に移る準備として、十一月三日に自宅から黒野の新しい作業所までバスを利用していきましました。

バスの乗り継ぎは、スムーズに出来るか？片道の通勤時間は、どれくらいかかるのか？と新しい作業所の場所の確認

を目的として行ってきました。

Q どのバスに乗っていきましたか？

A 八時に自宅を出てから、ふれあい福寿会館まで行き、旦島行きバスに乗車し金宝町のバス停で下車、そこから本巣市役所行きに乗車し黒野小学校前のバス停で下車し歩いて新しい作業所へ十時ごろ到着して感じ。

Q 時間はどれくらいかかったの？

A 片道二時間ぐらい。

Q バスでいくらかかった？

A 片道三百円ぐらい。

Q 黒野へ向かってる時の心境は？

A 前もって自分が乗っている時の心境は？  
り継ぎのときに、仲のよい運転手さんに確認して行ったから、そこまでは不安はなかったけど…：本当に無事に着けるか心配だった。

Q 新しい施設はどうでしたか？(さら地の状態の時)

A すごく広くあった。

Q 今回の黒野まで行ってみてどうだった？

A バスの事より土地の広さにビックリした！また二月ぐらいに黒野へ行ってみようと思う。

今回、新しい作業所の場所やバスの乗り継ぎの仕方は分かったのが良かったと思います。けどまだ赤石君には、乗り継ぎ時のバスの時間などが不安らしく、また二月に黒野の新しい作業所へ行くらしいのでもう一度時刻など調べて

挑戦してほしいです。(本望)

新体系に移るため、より広い土地を探して引越しをした。移動の負担と利便性を考え、今の場所に近い所を探したが、三十人以上が働けて、様々な設置基準を満たす作業所が建つ土地を中心部で手に入れることは私達には困難だった。車いすでの所要時間片道二時間、まだ全線バスがバリアフリーではないので路線や車両が限られ、最短の時間とコースでは来られず不必要な？時間がかかることが多い。

そしてバス代の片道三百円。三年ほど前の岐阜県の作業所の平均工賃は一万千五百六十八円、月十五日通所すると工賃は一日千円をきる。就労継続支援B型は平均工賃が月三千円を超えることを条件にしているが、千円では交通費と昼ごはんは賄えない。そしてこの事はうちの作業所だけではなく、全国的に起きていて困っている事なのである。

作業所の努力としては、高い工賃を払うこと、通所や食の経費を低く抑える事となる。というより、生活のできる工賃を支払うことにある。でも容易ではない。この現実に対し、本人・家族としての考えや対応もあるだろうが、働きに行くのに何故支払のほうが多いのかという疑問、何が問題で本来の解決策とは何か。作業所や本人・家族だけでなく社会問題として一緒に広く取り組んでいかなければならない課題である。(吉田)

## 編集後記

今回編集後記を書かせていただく本望 睦(ほんもう あつし)といえます。

毎年、「歳末たすけあい事業」から助成金をいただいております。昨年は、作業の参考となる施設へ行き見聞を広げるために使わせていただきました。今回は、利用者のある事、一人では出来ないけど誰かがサポートする事で出来る事を聞き、一人ひとりのプログラムを作って実行していきます。

「歳末たすけあい事業」を次回の通信に載せようと思っています。お楽しみに！ちなみに次回の通信は、四月に行います。

はじめて自分を知ってくださった方、知っている方、今後、たくさんのご迷惑をかけるかも知れませんが、よろしく願います。(本望)

編集/発行

つながり亭・

ヴァリエーション

住所 岐阜市元浜町 35-1

Tel 058-263-6287

Fax 058-265-7288

E-mail

v-candle@ip.mirai.ne.jp